

死ぬきみたち

一

弟の受験がすんだら自殺する

家がゴタゴタして
迷惑をかけたくないから

それはとてもまじめな配慮なのだ

でも死にたいのではなく
消したいのだろう

世界を

二

わたしたちという猿山の山頂には
遺伝子プールという水たまりがあって
神様が遊んだ結果
あふれて消えるものがある

数百万年前、人類は絶滅しかかり
わずかに数千人になった

(その子孫がわたしたち)

その時期をボトルネックと呼ぶ

三

「救う」

「癒す」

言葉は日ごとに安易になる

私たちはすでに安易だから
それでいいとも言えるのだが

それでもきみは
死なないほうが良いと思う

ボトルの首が閉じられる
運命にあるとしても

